



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2021年2月8日

上場会社名 株式会社インターネットイニシアティブ

上場取引所 東

コード番号 3774 URL <https://www.ij.ad.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝 栄二郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 渡井 昭久 TEL (03)5205-6500

四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	156,070	3.6	10,127	67.1	9,227	64.5	5,946	69.8	5,877	75.2	7,582	36.1
2020年3月期第3四半期	150,688	7.9	6,060	10.0	5,610	0.8	3,502	△2.7	3,354	△3.3	5,573	242.6

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	65.16	64.84
2020年3月期第3四半期	37.20	37.04

(注)当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。そのため、基本的及び希薄化後1株当たり四半期利益について、当該株式分割が前連結会計年度期首に行われたと仮定して、算出しております。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	210,108	86,172	85,178	40.5
2020年3月期	206,524	80,057	79,076	38.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.50	—	13.50	27.00
2021年3月期	—	20.50	—		
2021年3月期(予想)				10.25	—

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。2021年3月期の期末配当金は当該株式分割後の数値であり、分割前の株数で計算した場合、期末配当金は1株当たり20.50円となり年間配当金は1株当たり41.00円となります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	213,000	4.2	13,500	64.1	12,300	71.8	7,600	89.7	84.26

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注2) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、基本的1株当たり当期利益は当該株式分割後の数値であります。

(注3) 2021年3月期の連結業績予想の詳細につきましては、添付資料7頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期 3Q	93,469,200株	2020年3月期	93,469,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期 3Q	3,263,532株	2020年3月期	3,301,900株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期 3Q	90,191,724株	2020年3月期 3Q	90,158,642株

(注)当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため、上記の期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、当該株式分割が前連結会計年度期首に行われたと仮定して、算出しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想の適切な利用に関する説明

業績予想は、本資料の発表日現在において当社グループの入手可能な情報に基づき、一定の前提(仮定)を用いて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。また、今後の当社グループの事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、実際の業績が現状の見通し数値と大きく変わる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料7頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) その他

決算説明会プレゼンテーション資料は、TDnetにて2021年2月8日(月)に開示し、併せて当社ホームページへも掲載する予定です。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	.....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	.....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	.....	P. 7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	.....	P. 7
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	.....	P. 8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	.....	P. 8
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	.....	P. 8
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	.....	P. 9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書(未監査)	.....	P. 9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書(未監査)	.....	P. 11
(3) 要約四半期連結持分変動計算書(未監査)	.....	P. 15
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書(未監査)	.....	P. 17
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(未監査)	.....	P. 19
(継続企業の前提に関する注記)	.....	P. 19
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	.....	P. 19
(セグメント情報)	.....	P. 19
(重要な後発事象)	.....	P. 19

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 当四半期(2021年3月期第3四半期)の連結業績の概況

当四半期における国内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にありましたが、持ち直しの動きがみられました。先行きについては、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されますが、感染症拡大による社会経済活動への影響が内外経済を下振れさせるリスクに十分注意し、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

そのような景気動向の中、当社グループが主に係わる法人ICT<sup>(\*)1</sup>関連市場では、従前からの、インターネット接続サービスの安定成長、セキュリティ関連サービスの継続的な需要増加、クラウドコンピューティング<sup>(\*)2</sup>関連サービスの順次普及、それらのサービスを総合的に利用するIoT<sup>(\*)3</sup>関連案件の増加等に加えて、コロナ禍を契機とした、企業及び官公庁のテレワーク<sup>(\*)4</sup>関連を含むICTサービスの利用拡大を背景に、信頼性の高いネットワーク及びシステムへの需要は、今後も継続して増加していくものと認識しております。

このような市場環境の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間において、ネットワークサービスでは、企業のインターネットトラフィック<sup>(\*)5</sup>の増加によりIPサービス<sup>(\*)6</sup>売上高が順調に伸長し、自社開発のクラウドエクスチェンジ<sup>(\*)7</sup>、SD-WAN<sup>(\*)8</sup>やリモートアクセス<sup>(\*)9</sup>等のサービス群も、クラウド普及に伴う企業システムの移管案件やネットワークのリプレース案件需要に対応し、売上伸長を牽引しました。セキュリティ関連サービスは、新サービス追加と既存サービスの機能拡充等で、前年同期比12.4%増と高増収が継続しました。法人向けモバイルサービスも、マーケティングや設備監視用途のネットワークカメラ接続<sup>(\*)10</sup>等のIoT関連案件で継続拡大しており、今後の展望といたしましては、5G SA方式<sup>(\*)11</sup>対応のeSIM<sup>(\*)12</sup>を開発し動作検証を完了しました。システムインテグレーションでは、企業や官公庁向けのネットワーク環境の構築案件が活況で、システム運用保守に一部含まれるクラウドコンピューティング関連サービス売上高も順調に増加いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきまして、総売上高は、インターネット接続サービス、アウトソーシングサービス及びシステム運用保守等の月額計上される法人ストック売上高が増収を牽引し、156,070百万円となりました。法人ストック売上高は大幅増加したものの、前年度中にあったWANサービスの大口特定顧客のモバイル移行による年度減収及びATM運営事業におけるコロナ禍等での減収影響があり、総売上高の増収率は低水準でありました。売上原価は前年同期比0.2%増の127,273百万円(前年同期 126,994百万円)となり、売上総利益は前年同期比21.5%増の28,797百万円(前年同期 23,694百万円)となりました。内訳といたしまして、ネットワークサービスの売上高は前年同期比2.7%増の93,983百万円(前年同期 91,525百万円)、売上総利益は、法人ストック売上高の想定以上の積み上げやモバイル接続料(定額通信料<sup>(\*)13</sup>)の2019年度実績に基づく単価の年次確定による低減等があり、前年同期比29.2%増の19,782百万円(前年同期 15,314百万円)となりました。システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は前年同期比6.9%増の59,927百万円(前年同期 56,062百万円)、売上総利益は前年同期比18.8%増の8,255百万円(前年同期 6,951百万円)となりました。ATM運営事業の売上高は、店舗休店や外出自粛でのATM利用件数減少及びATM運用台数減少等により、前年同期比30.4%減の2,160百万円(前年同期 3,101百万円)、売上総利益は前年同期比46.8%減の760百万円(前年同期 1,429百万円)となりました。販売管理費等(販売費及び一般管理費、その他の収益及びその他の費用の合計)は前年同期比5.9%増の18,670百万円(前年同期 17,634百万円)となり、当第3四半期連結累計期間における営業利益は前年同期比67.1%増の10,127百万円(前年同期 6,060百万円)となりました。税引前四半期利益は前年同期比64.5%増の9,227百万円(前年同期 5,610百万円)となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比75.2%増の5,877百万円(前年同期 3,354百万円)となりました。

### 用語集

(\*)1 ICT: Information and Communication Technologyの略。コンピュータによる情報通信に関するハードウェア、ソフトウェア、システム及びデータ通信等に関する技術の総称。

(\*)2 クラウドコンピューティング: コンピュータの機能や処理能力、ソフトウェア、データ等をインターネット経由で利用すること。

(\*)3 IoT: Internet of Thingsの略。モノのインターネットと言われ、これまでインターネットに接続されていなかった物体に通信機能を持たせることで、物体が情報通信を行うようになること。

(\*)4 テレワーク: 会社事務所以外の自宅や遠隔地からICTを利用し、業務に従事すること。

(\*)5 インターネットトラフィック: インターネットを通じて転送されるデータ流量のこと。

(\*)6 IPサービス: 当社の提供する法人向け専用線型インターネット接続サービス。

(\*)7 クラウドエクスチェンジ: 複数のクラウドサービス、複数のネットワークサービス、複数のITサービスを相互に結びつけて提供するデータセンター機能のひとつ。

(\*)8 SD-WAN: Software Defined WANの略。サーバーやルーターなどのハードウェアで構築されたネットワーク上に仮想的な別のネットワークを構築し、ソフトウェアで一元管理を行い、拠点間接続やクラウド接続などにおいて柔軟なネットワーク構成やトラフィックコントロールなどを実現する技術やサービスのこと。

(\*)9 リモートアクセス: インターネット回線等を通じて、企業の社内ネットワークやコンピュータに外部から接続すること。

(\*)10 ネットワークカメラ接続: ネットワークに接続できるカメラへ当社のIoTプラットフォームを介して接続サービスを提供するもの。

(\*)11 5G SA方式: 5G Stand Alone方式の略。コアネットワーク、データ通信機能、制御機能等を、全て5G(第5世代移動通信)技術によりシステム構成した通信方式のこと。

(\*)12 eSIM: 内部に保存されている通信事業者のプロファイル(情報)を遠隔で書き換え可能な端末内蔵型のSIMのこと。

(\*)13 定額通信料: NTTドコモ等と当社との間の通信帯域に係る費用、Mbps当り単価のこと。

## ②経営成績の分析

当社グループの売上収益の大部分は「ネットワークサービス及びSI事業」からのものであり、役務別の分析により記載しております。

## &lt;連結業績サマリー&gt;

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
売上収益合計	150,688	156,070	3.6
ネットワークサービス売上高	91,525	93,983	2.7
システムインテグレーション売上高(注)1	56,062	59,927	6.9
ATM運営事業売上高	3,101	2,160	△30.4
売上原価合計	△126,994	△127,273	0.2
ネットワークサービス売上原価	△76,211	△74,201	△2.6
システムインテグレーション売上原価(注)1	△49,111	△51,672	5.2
ATM運営事業売上原価	△1,672	△1,400	△16.3
売上総利益合計	23,694	28,797	21.5
ネットワークサービス売上総利益	15,314	19,782	29.2
システムインテグレーション売上総利益(注)1	6,951	8,255	18.8
ATM運営事業売上総利益	1,429	760	△46.8
販売管理費等(注)2	△17,634	△18,670	5.9
営業利益	6,060	10,127	67.1
税引前四半期利益	5,610	9,227	64.5
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,354	5,877	75.2

(注)1. システムインテグレーションには機器販売を含んでおります。

2. 販売費及び一般管理費(含む研究開発費)、その他の収益、その他の費用の合計額を記載しております。

## &lt;セグメント情報サマリー&gt;

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
連結売上収益	150,688	156,070
ネットワークサービス及びSI事業	147,805	154,039
ATM運営事業	3,101	2,160
セグメント間取引消去	△218	△129
連結営業利益	6,060	10,127
ネットワークサービス及びSI事業	4,901	9,603
ATM運営事業	1,271	616
セグメント間取引消去	△112	△92

## i) 売上収益

当第3四半期連結累計期間における売上収益は、前年同期比3.6%増の156,070百万円(前年同期 150,688百万円)となりました。

## &lt;ネットワークサービス売上高&gt;

法人向けインターネット接続サービスの売上高は、通信需要の増加に伴うIPサービス及びモバイル関連サービス売上高の増加等があり、前年同期比9.0%増の29,699百万円(前年同期 27,258百万円)となりました。

個人向けインターネット接続サービスの売上高は、競合の進展及び新型コロナウイルス感染症拡大に伴う販売店の営業低調等による個人向けモバイルサービス売上高の減少等により、前年同期比0.7%減の19,390百万円(前年同期 19,530百万円)となりました。

WANサービスの売上高は、前年度第3四半期までの大口特定顧客のモバイル移行による減収の年度影響等で、前年同期比10.5%減の18,605百万円(前年同期 20,796百万円)となりました。

アウトソーシングサービスの売上高は、セキュリティ関連サービス売上高の増加等があり、前年同期比9.8%増の26,289百万円(前年同期 23,941百万円)となりました。

これらの結果、ネットワークサービス売上高は、前年同期比2.7%増の93,983百万円(前年同期 91,525百万円)となりました。

ネットワークサービス売上高の内訳、法人向け及び個人向けインターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域は、それぞれ以下のとおりであります。

## &lt;ネットワークサービス売上高の内訳&gt;

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
ネットワークサービス売上高合計	91,525	93,983	2.7
法人向けインターネット接続サービス	27,258	29,699	9.0
IPサービス(含むインターネットデータセンター 接続サービス)	7,992	8,988	12.5
IIJモバイルサービス	16,780	18,034	7.5
法人IoT等用途向け直接提供	4,350	5,513	26.7
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	12,430	12,521	0.7
その他	2,486	2,677	7.7
個人向けインターネット接続サービス	19,530	19,390	△0.7
IIJmioモバイルサービス	17,605	17,363	△1.4
その他	1,925	2,027	5.3
WANサービス	20,796	18,605	△10.5
アウトソーシングサービス	23,941	26,289	9.8

## &lt;インターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域&gt;(注)1

	前第3四半期連結会計期間末 (2019年12月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (2020年12月31日現在)	増減
法人向けインターネット接続サービス契約数合計	1,902,586	2,258,371	355,785
IPサービス(1Gbps以上)(注)2	757	782	25
IPサービス(1Gbps未満)(注)2	1,259	1,225	△34
IIJモバイルサービス	1,815,268	2,165,723	350,455
法人IoT等用途向け直接提供	710,604	1,046,470	335,866
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	1,104,664	1,119,253	14,589
その他	85,302	90,641	5,339
個人向けインターネット接続サービス回線数合計	1,405,848	1,380,594	△25,254
IIJmioモバイルサービス	1,072,576	1,037,227	△35,349
その他	333,272	343,367	10,095

	帯域(Gbps)	帯域(Gbps)	(Gbps)
法人向けインターネット接続サービス契約総帯域 (注)3	4,745.7	6,021.9	1,276.2

(注)1. 法人向けインターネット接続サービス及び個人向けインターネット接続サービスの内訳において、「IIJモバイルサービス」及び「IIJmioモバイルサービス」は回線数を表示しており、それ以外は契約数を表示しております。

2. IPサービスには、インターネットデータセンター接続サービスが含まれます。

3. 法人向けインターネット接続サービスのうち、IPサービス(含むインターネットデータセンター接続サービス)及びブロードバンド対応型サービス各々の契約数と契約帯域を乗じることにより算出しております。

## &lt;システムインテグレーション売上高&gt;

システム構築及び機器販売による一時的な売上高は、前年同期比1.8%減の21,687百万円(前年同期 22,081百万円)となりました。システム運用保守による継続的な売上高は、プライベートクラウドサービスの売上高増加等があり、前年同期比12.5%増の38,240百万円(前年同期 33,981百万円)となりました。これらの結果、システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は、前年同期比6.9%増の59,927百万円(前年同期 56,062百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注は、前年同期比8.2%増の65,167百万円(前年同期 60,231百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注は前年同期比2.7%増の23,943百万円(前年同期 23,305百万円)、システム運用保守に関する受注は前年同期比11.6%増の41,224百万円(前年同期 36,926百万円)でありました。

当第3四半期連結累計期間末のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注残高は、前年同期末比10.5%増の61,104百万円(前年同期末 55,284百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注残高は前年同期末比7.7%増の9,763百万円(前年同期末 9,064百万円)、システム運用保守に関する受注残高は前年同期末比11.1%増の51,341百万円(前年同期末 46,220百万円)でありました。

## &lt;ATM運営事業売上高&gt;

ATM運営事業売上高は、新型コロナウイルス感染症によるATM設置店休店や外出自粛でのATM利用件数減少及びATM運用台数減少等により、前年同期比30.4%減の2,160百万円(前年同期 3,101百万円)となりました。

## ii) 売上原価

当第3四半期連結累計期間における売上原価は、前年同期比0.2%増の127,273百万円(前年同期 126,994百万円)となりました。

## &lt;ネットワークサービス売上原価&gt;

ネットワークサービスの売上原価は、WANサービス売上高の減少等に伴う回線関連費用の減少に加え、モバイル接続料の2019年度実績に基づく単価低減の確定等により、前年同期比2.6%減の74,201百万円(前年同期 76,211百万円)となりました。ネットワークサービスの売上総利益は、前年同期比29.2%増の19,782百万円(前年同期 15,314百万円)となり、ネットワークサービスの売上総利益率は21.0%(前年同期 16.7%)となりました。

<システムインテグレーション売上原価>

システムインテグレーション(含む機器販売)の売上原価は、クラウド関連売上高等の増加に伴うライセンス費用の増加等があり、前年同期比5.2%増の51,672百万円(前年同期 49,111百万円)となりました。機器販売を含むシステムインテグレーションの売上総利益は、前年同期比18.8%増の8,255百万円(前年同期 6,951百万円)となり、売上総利益率は13.8%(前年同期 12.4%)となりました。

<ATM運営事業売上原価>

ATM運営事業売上原価は、前年同期比16.3%減の1,400百万円(前年同期 1,672百万円)となりました。売上総利益は、760百万円(前年同期 1,429百万円)となり、売上総利益率は35.2%(前年同期 46.1%)となりました。

iii) 販売管理費等

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費(含む研究開発費)は、人件関連費用の増加等がありましたが販売手数料及び旅費交通費の減少等があり、前年同期比3.7%増の18,328百万円(前年同期 17,680百万円)となりました。

その他の収益は113百万円(前年同期 187百万円)となりました。その他の費用は主として固定資産除却損により455百万円(前年同期 141百万円)となりました。

iv) 営業利益

当第3四半期連結累計期間における営業利益は、前年同期比67.1%増の10,127百万円(前年同期 6,060百万円)となりました。

v) 金融収益、金融費用及び持分法による投資損益

当第3四半期連結累計期間における金融収益は、受取配当金83百万円(前年同期 75百万円)、金融資産評価益192百万円(前年同期 192百万円)等により、317百万円(前年同期 349百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間における金融費用は、支払利息440百万円(前年同期 432百万円)等により、490百万円(前年同期 432百万円)となりました。

当第3四半期連結累計期間における持分法による投資損益は、㈱ディーカレットに関する損失785百万円等があり、727百万円の損失(前年同期 367百万円の損失)となりました。

vi) 税引前四半期利益

当第3四半期連結累計期間における税引前四半期利益は、前年同期比64.5%増の9,227百万円(前年同期 5,610百万円)となりました。

vii) 四半期利益

当第3四半期連結累計期間における法人所得税費用は、3,281百万円の費用(前年同期 2,108百万円の費用)となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間における四半期利益は、前年同期比69.8%増の5,946百万円(前年同期 3,502百万円)となりました。

非支配持分に帰属する四半期利益は、㈱トラストネットワークスに係る利益等により69百万円(前年同期 148百万円)となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間における親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比75.2%増の5,877百万円(前年同期 3,354百万円)となりました。



## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び株主資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比3,584百万円増加し、210,108百万円(前連結会計年度末206,524百万円)となりました。

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比5,311百万円増加し、91,901百万円(前連結会計年度末86,590百万円)となり、主な増減及び残高の内訳は、現金及び現金同等物3,299百万円増加の41,970百万円、営業債権2,763百万円減少の29,822百万円、前払費用1,377百万円増加の11,074百万円、契約資産2,822百万円増加の3,261百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における非流動資産は、前連結会計年度末比1,727百万円減少の118,207百万円(前連結会計年度末119,934百万円)となりました。主な増減及び残高の内訳は、有形固定資産の主として減価償却による847百万円の減少で16,553百万円、使用権資産(オフィス、データセンター等の賃借契約及び通信機器等のリース契約の利用権)の主として減価償却による4,140百万円の減少で46,420百万円、無形資産の主として減価償却による1,009百万円の減少で17,272百万円、持分法で会計処理されている投資は㈱ディーカレットへの出資等による1,881百万円増加の6,708百万円、その他投資の保有上場株式の時価変動等にて2,406百万円増加で11,592百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比3,705百万円増加の69,391百万円(前連結会計年度末65,687百万円)となりました。主な増減及び残高の内訳は、営業債務及びその他の債務1,984百万円増加の20,271百万円、借入金2,980百万円の増加(うち非流動負債からの振替5,170百万円及び返済による減少2,190百万円)の18,560百万円、その他の金融負債はリース支払等にて2,198百万円減少の15,647百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における非流動負債は、前連結会計年度末比6,236百万円減少の54,544百万円(前連結会計年度末60,780百万円)となり、主な増減及び残高の内訳は、借入金は5,170百万円の流動負債への振替にて7,000百万円、その他の金融負債は流動負債への振替等にて2,077百万円減少の34,228百万円でありました。

当第3四半期連結会計期間末における親会社の所有者に帰属する持分の額は、前連結会計年度末比6,102百万円増加の85,178百万円(前連結会計年度末79,076百万円)、親会社の所有者に帰属する持分比率は40.5%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、41,970百万円(前年同期末36,351百万円)となりました。

## &lt; 営業活動によるキャッシュ・フロー &gt;

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益9,227百万円、減価償却費及び償却費21,094百万円(うちIFRS第16号の適用によるオペレーティング・リースに係る使用権資産の減価償却費8,841百万円)に対して、営業債権の減少及び契約負債(前受収益)の増加が前年同期比で収入増となったのに加え、前年度期首にて一時的要因で増加していた営業債務の支払が前年同期比で支出減となり、前払費用及び契約資産の増加による支出増を上回ったため、営業資産及び負債の増減で3,526百万円の収入(前年同期314百万円の収入)となり、法人所得税の支払い3,928百万円等もあり、31,399百万円の収入(前年同期25,051百万円の収入)となりました。

## &lt; 投資活動によるキャッシュ・フロー &gt;

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による4,555百万円の支出(前年同期6,222百万円の支出)、ソフトウェア等の無形資産の取得による3,722百万円の支出(前年同期4,017百万円の支出)、主としてセールアンドリースバック取引で有形固定資産の売却による収入1,859百万円(前年同期1,774百万円の収入)、持分法適用関連会社への出資2,754百万円等があり、8,918百万円の支出(前年同期6,461百万円の支出)となりました。

## &lt; 財務活動によるキャッシュ・フロー &gt;

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済2,190百万円、その他の金融負債の支払15,252百万円(うちIFRS第16号の適用によるオペレーティング・リースに係る支払8,771百万円)、配当金の支払い1,533百万円等があり、19,031百万円の支出(前年同期14,154百万円の支出)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月9日に公表いたしました予想から修正しております。詳しくは、本日(2021年2月8日)公表の「通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更  
該当事項はありません。

## 3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書(未監査)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (2020年12月31日現在)
	千円	千円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	38,671,734	41,970,420
営業債権	32,585,326	29,822,130
棚卸資産	2,476,477	2,345,596
前払費用	9,696,856	11,073,659
契約資産	438,675	3,260,968
その他の金融資産	2,629,332	3,185,141
その他の流動資産	92,027	243,044
流動資産合計	86,590,427	91,900,958
非流動資産		
有形固定資産	17,399,863	16,552,561
使用権資産	50,560,361	46,420,207
のれん	6,082,472	6,082,472
無形資産	18,280,247	17,271,611
持分法で会計処理されている投資	4,827,287	6,707,822
前払費用	7,777,997	8,352,479
契約資産	60,362	33,774
その他の投資	9,186,646	11,592,406
繰延税金資産	742,857	151,545
その他の金融資産	4,645,959	4,626,162
その他の非流動資産	369,782	416,113
非流動資産合計	119,933,833	118,207,152
資産合計	206,524,260	210,108,110

	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)	当第3四半期連結会計期間末 (2020年12月31日現在)
	千円	千円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	18,287,546	20,271,191
借入金	15,580,000	18,560,000
未払法人所得税	2,283,707	1,698,338
契約負債	5,897,674	6,770,021
繰延収益	88,901	83,410
その他の金融負債	17,845,194	15,647,406
その他の流動負債	5,703,623	6,360,988
流動負債合計	65,686,645	69,391,354
非流動負債		
借入金	12,170,000	7,000,000
退職給付に係る負債	3,984,880	4,250,999
引当金	753,518	755,681
契約負債	5,991,807	6,576,503
繰延収益	479,097	422,429
繰延税金負債	136,536	276,857
その他の金融負債	36,305,781	34,228,425
その他の非流動負債	958,879	1,033,570
非流動負債合計	60,780,498	54,544,464
負債合計	126,467,143	123,935,818
資本		
資本金	25,530,621	25,530,621
資本剰余金	36,271,395	36,372,219
利益剰余金	16,500,993	21,096,389
その他の資本の構成要素	2,669,501	4,053,607
自己株式	△1,896,921	△1,875,112
親会社の所有者に帰属する持分合計	79,075,589	85,177,724
非支配持分	981,528	994,568
資本合計	80,057,117	86,172,292
負債及び資本合計	206,524,260	210,108,110

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書(未監査)

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
	千円	千円
売上収益		
ネットワークサービス売上高	91,524,644	93,983,677
システムインテグレーション売上高	56,062,205	59,926,698
ATM運営事業売上高	3,101,475	2,159,738
売上収益合計	150,688,324	156,070,113
売上原価		
ネットワークサービス売上原価	△76,210,678	△74,201,460
システムインテグレーション売上原価	△49,111,625	△51,671,863
ATM運営事業売上原価	△1,672,487	△1,400,165
売上原価合計	△126,994,790	△127,273,488
売上総利益	23,693,534	28,796,625
販売費及び一般管理費	△17,680,244	△18,327,863
その他の収益	187,214	113,091
その他の費用	△140,434	△454,357
営業利益	6,060,070	10,127,496
金融収益	349,156	317,146
金融費用	△432,586	△490,797
持分法による投資損益	△367,133	△726,857
税引前四半期利益	5,609,507	9,226,988
法人所得税費用	△2,107,255	△3,281,332
四半期利益	3,502,252	5,945,656
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,353,994	5,876,784
非支配持分	148,258	68,872
四半期利益	3,502,252	5,945,656
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	37.20	65.16
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	37.04	64.84

※当社は、2021年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

## 第3四半期連結会計期間

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
	千円	千円
売上収益		
ネットワークサービス売上高	30,320,743	31,879,433
システムインテグレーション売上高	20,146,597	21,760,024
ATM運営事業売上高	1,001,449	765,666
売上収益合計	51,468,789	54,405,123
売上原価		
ネットワークサービス売上原価	△25,057,088	△24,305,137
システムインテグレーション売上原価	△17,369,639	△18,281,933
ATM運営事業売上原価	△547,741	△476,046
売上原価合計	△42,974,468	△43,063,116
売上総利益	8,494,321	11,342,007
販売費及び一般管理費	△5,779,614	△6,203,679
その他の収益	28,146	32,677
その他の費用	△34,733	△282,558
営業利益	2,708,120	4,888,447
金融収益	245,051	349,379
金融費用	△152,940	△163,377
持分法による投資損益	△234,012	△313,322
税引前四半期利益	2,566,219	4,761,127
法人所得税費用	△922,320	△1,625,064
四半期利益	1,643,899	3,136,063
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,597,892	3,106,856
非支配持分	46,007	29,207
四半期利益	1,643,899	3,136,063
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	17.72	34.44
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	17.64	34.27

※当社は、2021年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
	千円	千円
四半期利益	3,502,252	5,945,656
その他の包括利益 (税引後)		
純損益に振り替えられることのない 項目		
その他の包括利益を通じて測定する ものとして指定した資本性金融商品 の公正価値の純変動額	2,115,344	1,737,941
純損益に振り替えられることのない 項目合計	2,115,344	1,737,941
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△45,806	△80,184
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	△471	236
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	1,189	△22,038
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△45,088	△101,986
その他の包括利益合計(税引後)	2,070,256	1,635,955
四半期包括利益	5,572,508	7,581,611
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,424,250	7,512,739
非支配持分	148,258	68,872
四半期包括利益	5,572,508	7,581,611

## 第3四半期連結会計期間

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
	千円	千円
四半期利益	1,643,899	3,136,063
その他の包括利益(税引後)		
純損益に振り替えられることのない 項目		
その他の包括利益を通じて測定する ものとして指定した資本性金融商品 の公正価値の純変動額	1,297,640	177,294
純損益に振り替えられることのない 項目合計	1,297,640	177,294
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	71,967	△37,415
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	△1,445	17
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△1,304	△10,939
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	69,218	△48,337
その他の包括利益合計(税引後)	1,366,858	128,957
四半期包括利益	3,010,757	3,265,020
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,964,750	3,235,813
非支配持分	46,007	29,207
四半期包括利益	3,010,757	3,265,020



## (3) 要約四半期連結持分変動計算書(未監査)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2019年4月1日時点の残高	25,518,712	36,225,775	12,335,035	4,088,704	△1,896,788	76,271,438
IFRS16号適用による累積的 影響額-税効果後	—	—	△33,728	—	—	△33,728
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	3,353,994	—	—	3,353,994
その他の包括利益	—	—	—	2,070,256	—	2,070,256
四半期包括利益合計	—	—	3,353,994	2,070,256	—	5,424,250
所有者との取引額						
新株の発行	11,909	△11,895	—	—	—	14
配当金	—	—	△1,217,082	—	—	△1,217,082
株式報酬取引	—	43,065	—	—	—	43,065
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	1,543,793	△1,543,793	—	—
所有者との取引額合計	11,909	31,170	326,711	△1,543,793	—	△1,174,003
2019年12月31日時点の残高	25,530,621	36,256,945	15,982,012	4,615,167	△1,896,788	80,487,957

	非支配 持分	資本合計
	千円	千円
2019年4月1日時点の残高	848,172	77,119,610
IFRS16号適用による累積的 影響額-税効果後	—	△33,728
四半期包括利益		
四半期利益	148,258	3,502,252
その他の包括利益	—	2,070,256
四半期包括利益合計	148,258	5,572,508
所有者との取引額		
新株の発行	—	14
配当金	△53,405	△1,270,487
株式報酬取引	—	43,065
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—
所有者との取引額合計	△53,405	△1,227,408
2019年12月31日時点の残高	943,025	81,430,982

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2020年4月1日時点の残高	25,530,621	36,271,395	16,500,993	2,669,501	△1,896,921	79,075,589
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	5,876,784	—	—	5,876,784
その他の包括利益	—	—	—	1,635,955	—	1,635,955
四半期包括利益合計	—	—	5,876,784	1,635,955	—	7,512,739
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	—	△140	△140
自己株式の処分	—	52,917	—	—	21,949	74,866
配当金	—	—	△1,533,237	—	—	△1,533,237
株式報酬取引	—	47,907	—	—	—	47,907
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	251,849	△251,849	—	—
所有者との取引額合計	—	100,824	△1,281,388	△251,849	21,809	△1,410,604
2020年12月31日時点の残高	25,530,621	36,372,219	21,096,389	4,053,607	△1,875,112	85,177,724
	非支配 持分	資本合計				
	千円	千円				
2020年4月1日時点の残高	981,528	80,057,117				
四半期包括利益						
四半期利益	68,872	5,945,656				
その他の包括利益	—	1,635,955				
四半期包括利益合計	68,872	7,581,611				
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	△140				
自己株式の処分	—	74,866				
配当金	△55,832	△1,589,069				
株式報酬取引	—	47,907				
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—				
所有者との取引額合計	△55,832	△1,466,436				
2020年12月31日時点の残高	994,568	86,172,292				

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (未監査)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	5,609,507	9,226,988
調整		
減価償却費及び償却費	21,355,819	21,093,793
固定資産除売却損益 (△は益)	114,310	432,101
持分法による投資損益 (△は益)	367,133	726,857
金融収益	△305,089	△283,369
金融費用	437,618	538,117
その他	6,904	332,913
営業資産及び負債の増減		
営業債権の増減額 (△は増加)	△421,001	2,753,953
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,176,389	132,323
前払費用の増減額 (△は増加)	△1,800,779	△1,977,177
契約資産の増減額 (△は増加)	1,425,857	△2,795,705
その他の資産の増減額 (△は増加)	215,219	△151,013
その他の金融資産の増減額 (△は増加)	△1,076,142	△100,592
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,215,472	2,820,693
契約負債の増減額 (△は減少)	873,982	1,501,364
繰延収益の増減額 (△は減少)	△17,544	△62,159
その他の負債の増減額 (△は減少)	496,485	666,159
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	449,121	472,422
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	208,082	266,119
小計	27,900,399	35,593,787
利息及び配当金の受取額	184,017	172,300
利息の支払額	△430,602	△438,861
法人所得税の支払額	△2,602,595	△3,928,124
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,051,219	31,399,102

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
	千円	千円
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,222,176	△4,555,236
有形固定資産の売却による収入	1,774,021	1,859,157
無形資産の取得による支出	△4,017,051	△3,722,346
無形資産の売却による収入	273,773	44,085
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△718,000	△2,754,000
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	—	60,637
その他の投資の取得による支出	△100,313	△113,076
その他の投資の売却による収入	2,749,885	462,547
敷金及び保証金の差入による支出	△188,062	△180,311
敷金及び保証金の回収による収入	14,491	25,986
積立保険料の支払	△42,255	△50,043
その他	14,833	4,695
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,460,854	△8,917,905
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,500,000	△1,830,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,500,000	△360,000
その他の金融負債による収入	1,473,000	—
その他の金融負債の支払	△15,356,191	△15,252,049
配当金の支払額	△1,217,082	△1,533,237
その他	△53,418	△55,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,153,691	△19,031,118
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△43,661	△151,393
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,393,012	3,298,686
現金及び現金同等物の期首残高	31,957,789	38,671,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,350,802	41,970,420

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(未監査)

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

当社グループは、主として、インターネット接続サービス、WANサービス、アウトソーシングサービス等から構成されるネットワークサービスとシステムインテグレーションサービスを複合して提供することによって、顧客のニーズに応じた包括的なソリューションの提供を行うネットワークサービス及びSI事業と、ATM運営事業を行っております。したがって、当社グループは「ネットワークサービス及びSI事業」、「ATM運営事業」の2つを報告セグメントとしております。

当社グループのセグメント情報は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

	報告セグメント			要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業	調整額	
	千円	千円	千円	
売上収益				
外部顧客からの売上収益	147,586,849	3,101,475	—	150,688,324
セグメント間の売上収益	217,943	—	△217,943	—
売上収益合計	147,804,792	3,101,475	△217,943	150,688,324
セグメント営業利益	4,901,631	1,270,909	△112,470	6,060,070
金融収益				349,156
金融費用				△432,586
持分法による投資損益				△367,133
税引前四半期利益				5,609,507

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

	報告セグメント			要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業	調整額	
	千円	千円	千円	
売上収益				
外部顧客からの売上収益	153,910,375	2,159,738	—	156,070,113
セグメント間の売上収益	128,904	—	△128,904	—
売上収益合計	154,039,279	2,159,738	△128,904	156,070,113
セグメント営業利益	9,603,150	615,697	△91,351	10,127,496
金融収益				317,146
金融費用				△490,797
持分法による投資損益				△726,857
税引前四半期利益				9,226,988

セグメント間取引は、市場に基づく取引価格に依っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。